

Supported by  日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION

平成27年度決算報告書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

一般社団法人 日本船舶電装協会

収支計算書（資金収支）

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

（単位：円）

科	目	予算額	決算額	差異	備考
I 事業活動収支の部					
1. 事業活動収入					
	基本財産運用収入	[5,200,000]	[5,027,102]	[172,898]	
	基本財産利息収入	5,200,000	5,027,102	172,898	
	特定資産運用収入	[20,000]	[30,715]	[△ 10,715]	
	特定資産利息収入	20,000	30,715	△ 10,715	
	会費入会金収入	[55,963,000]	[55,658,250]	[304,750]	
	正会員会費収入	52,713,000	52,033,250	679,750	
	賛助会員会費収入	2,600,000	2,525,000	75,000	
	入会金収入	650,000	1,100,000	△ 450,000	
	補助金等収入	[64,520,000]	[64,520,000]	[0]	
	日本財団助成金収入	64,520,000	64,520,000	0	
	負担金収入	[5,984,000]	[5,700,900]	[283,100]	
	一般事業負担金収入	231,000	123,200	107,800	
	助成事業負担金収入	5,753,000	5,577,700	175,300	
	雑収入	[1,412,000]	[1,625,700]	[△ 213,700]	
	受取利息	30,000	25,800	4,200	
	雑収入	1,382,000	1,599,900	△ 217,900	
	事業活動収入計	133,099,000	132,562,667	536,333	
2. 事業活動支出					
	事業費支出	[119,865,000]	[105,766,812]	[14,098,188]	
	一般事業費支出	13,622,000	6,166,788	7,455,212	
	(活性化対策)	(752,000)	(319,301)	(432,699)	
	(調査指導事業)	(7,192,000)	(1,479,800)	(5,712,200)	
	(刊行費)	(3,178,000)	(1,987,280)	(1,190,720)	
	(災害電力供給)	(2,500,000)	(2,380,407)	(119,593)	
	日本財団助成事業費支出	10,600,000	11,193,889	△ 593,889	
	(技術指導等)	(10,600,000)	(11,193,889)	(△ 593,889)	
	その他事業費支出	95,643,000	88,406,135	7,236,865	
	(役員報酬支出)	(14,691,000)	(21,889,192)	(△7,198,192)	
	(給料手当支出)	(52,117,000)	(42,257,057)	(9,859,943)	
	(退職給付支出)	(2,562,000)	(2,719,980)	(△ 157,980)	
	(福利厚生費支出)	(13,254,000)	(10,925,264)	(2,328,736)	

科 目	予算額	決算額	差異	備考
(物件費支出)	(1,010,000)	(637,152)	(372,848)	
(支払報酬支出)	(811,000)	(671,400)	(139,600)	
(事務費支出)	(2,262,000)	(1,250,428)	(1,011,572)	
(賃借料支出)	(8,573,000)	(7,822,309)	(750,691)	
(支払手数料支出)	(363,000)	(233,353)	(129,647)	
管理費支出	[44,594,000]	[36,992,922]	[7,601,078]	
役員報酬支出	6,920,000	2,432,131	4,487,869	
給料手当支出	10,709,000	10,617,635	91,365	
退職給付支出	11,892,000	11,734,020	157,980	
福利厚生費支出	3,174,000	2,639,312	534,688	
会議費支出	2,695,000	1,949,475	745,525	
旅費交通費支出	1,548,000	1,302,408	245,592	
物件費支出	202,000	127,431	74,569	
支払報酬支出	157,000	134,280	22,720	
事務費支出	453,000	250,085	202,915	
広告宣伝費支出	240,000	120,960	119,040	
賃借料支出	1,715,000	1,564,460	150,540	
支払手数料支出	73,000	46,669	26,331	
渉外費支出	1,586,000	1,572,484	13,516	
諸会費支出	980,000	971,400	8,600	
租税公課支出	1,792,000	1,404,158	387,842	
雑支出	458,000	126,014	331,986	
事業活動支出計	164,459,000	142,759,734	21,699,266	
事業活動収支差額	△ 31,360,000	△ 10,197,067	△ 21,162,933	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
特定資産取崩収入	[14,454,000]	[14,454,000]	[0]	
退職給付引当資産取崩収入	14,454,000	14,454,000	0	
投資活動収入計	14,454,000	14,454,000	0	
2. 投資活動支出				
特定資産取得支出	[5,600,000]	[5,544,828]	[55,172]	
退職給付引当資産取得支出	5,600,000	5,544,828	55,172	
投資活動支出計	5,600,000	5,544,828	55,172	
投資活動収支差額	8,854,000	8,909,172	△ 55,172	

科 目	予算額	決算額	差異	備考
Ⅲ 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	—	—	—	
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	—	—	—	
財務活動収支差額	—	—	—	
Ⅳ 予備費支出	[364,000]	[—]	[364,000]	
当期収支差額	△ 22,870,000	△ 1,287,895	△ 21,582,105	
前期繰越収支差額	22,870,000	23,550,957	△ 680,957	
次期繰越収支差額	0	22,263,062	△ 22,263,062	

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収金、有価証券、前払費用、未払金、未払費用、前受金、預り金、賞与引当金、未払法人税等及び未払消費税等を含めている。

なお、前年度末及び当年度末残高は、下記2. に記載する通りである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科 目	前年度末残高	当年度末残高
現金預金	28,121,906	31,114,309
未収金	—	10,200
有価証券	3,123,987	129,040
前払費用	522,926	522,926
合 計 (A)	31,768,819	31,776,475
未払金	1,370,395	970,978
未払費用	60,117	135,392
前受金	2,000	775,000
預り金	501,169	532,182
賞与引当金	5,800,481	6,636,661
未払法人税等	70,000	70,000
未払消費税等	413,700	393,200
合 計 (B)	8,217,862	9,513,413
次期繰越収支差額(A)-(B)	23,550,957	22,263,062

2. 科目間の流用及び予備費の使用等について

(1) 科目間の流用

以下の通り予算の流用を行った。

(単位：円)

科 目	当初予算額	科目間流用額	流用後予算額
管理費支出			
役員報酬支出	9,920,000	△ 3,000,000	6,920,000
給料手当支出	7,709,000	3,000,000	10,709,000

(2) 予備費の使用

なし。

貸 借 対 照 表

平成28年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	31,114,309	28,121,906	2,992,403
未収金	10,200	—	10,200
有価証券	129,040	3,123,987	△ 2,994,947
前払費用	522,926	522,926	0
流動資産合計	31,776,475	31,768,819	7,656
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	53,975,200	3,975,200	50,000,000
投資有価証券	396,590,852	446,374,140	△ 49,783,288
基本財産合計	450,566,052	450,349,340	216,712
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	55,166,761	64,075,933	△ 8,909,172
事業活動準備引当資産	14,930,000	14,930,000	0
設備購入引当資産	7,379,708	7,379,708	0
特定資産合計	77,476,469	86,385,641	△ 8,909,172
(3) その他の固定資産			
工具・器具及び備品	869,096	1,492,670	△ 623,574
ソフトウェア	945,148	1,438,816	△ 493,668
電話加入権	235,894	235,894	0
敷金	1,367,118	1,367,118	0
その他の固定資産合計	3,417,256	4,534,498	△ 1,117,242
固定資産合計	531,459,777	541,269,479	△ 9,809,702
資産合計	563,236,252	573,038,298	△ 9,802,046
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	970,978	1,370,395	△ 399,417
未払費用	135,392	60,117	75,275
前受金	775,000	2,000	773,000
預り金	532,182	501,169	31,013
賞与引当金	6,636,661	5,800,481	836,180
未払法人税等	70,000	70,000	0
未払消費税等	393,200	413,700	△ 20,500
流動負債合計	9,513,413	8,217,862	1,295,551

科 目	当年度	前年度	増減
2. 固定負債			
退職給付引当金	55,166,761	64,075,933	△ 8,909,172
固定負債合計	55,166,761	64,075,933	△ 8,909,172
負債合計	64,680,174	72,293,795	△ 7,613,621
Ⅲ 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
日本財団助成金基金	450,566,052	450,349,340	216,712
指定正味財産合計	450,566,052	450,349,340	216,712
(うち基本財産への充当額)	(450,566,052)	(450,349,340)	(216,712)
(うち特定資産への充当額)	(—)	(—)	(—)
2. 一般正味財産			
一般正味財産	47,990,026	50,395,163	△ 2,405,137
(うち基本財産への充当額)	(—)	(—)	(—)
(うち特定資産への充当額)	(22,309,708)	(22,309,708)	(—)
正味財産合計	498,556,078	500,744,503	△ 2,188,425
負債及び正味財産合計	563,236,252	573,038,298	△ 9,802,046

正味財産増減計算書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[5,027,102]	[5,004,256]	[22,846]
基本財産受取利息	5,027,102	5,004,256	22,846
特定資産運用益	[30,715]	[32,119]	[△ 1,404]
特定資産受取利息	30,715	32,119	△ 1,404
受取会費入会金	[55,658,250]	[55,102,125]	[556,125]
正会員受取会費	52,033,250	51,302,125	731,125
賛助会員受取会費	2,525,000	2,600,000	△ 75,000
受取入会金	1,100,000	1,200,000	△ 100,000
受取補助金等	[64,520,000]	[63,210,000]	[1,310,000]
日本財団受取助成金	64,520,000	63,210,000	1,310,000
受取負担金	[5,700,900]	[5,671,900]	[29,000]
一般事業受取負担金	123,200	107,800	15,400
助成事業受取負担金	5,577,700	5,564,100	13,600
雑収益	[1,625,700]	[1,658,823]	[△ 33,123]
受取利息	25,800	25,523	277
雑収益	1,599,900	1,633,300	△ 33,400
経常収益計	132,562,667	130,679,223	1,883,444
(2) 経常費用			
事業費	[107,403,944]	[98,515,625]	[8,888,319]
一般事業費	6,166,788	5,070,035	1,096,753
(活性化対策)	(319,301)	(836,458)	(△ 517,157)
(調査指導事業)	(1,479,800)	(1,700,563)	(△ 220,763)
(刊行費)	(1,987,280)	(2,273,004)	(△ 285,724)
(災害電力供給)	(2,380,407)	(260,010)	(2,120,397)
日本財団助成事業費	11,193,889	8,862,581	2,331,308
(技術指導等)	(11,193,889)	(8,862,581)	(2,331,308)
その他事業費	90,043,267	84,583,009	5,460,258
(役員報酬)	(21,889,192)	(14,682,895)	(7,206,297)
(給料手当)	(42,257,057)	(44,510,029)	(△ 2,252,972)
(退職給付費用)	(4,357,112)	(4,100,057)	(257,055)

科 目	当年度	前年度	増減
(福利厚生費)	(10,925,264)	(10,726,340)	(198,924)
(物件費)	(637,152)	(641,337)	(△ 4,185)
(支払報酬)	(671,400)	(713,333)	(△ 41,933)
(事務費)	(1,250,428)	(1,204,646)	(45,782)
(賃借料)	(7,822,309)	(7,823,861)	(△ 1,552)
(支払手数料)	(233,353)	(180,511)	(52,842)
管理費	[27,563,859]	[31,364,319]	[△ 3,800,460]
役員報酬	2,432,131	9,915,925	△ 7,483,794
給料手当	10,617,635	7,208,134	3,409,501
退職給付費用	1,187,716	1,695,855	△ 508,139
福利厚生費	2,639,312	2,903,813	△ 264,501
会議費	1,949,475	1,674,780	274,695
旅費交通費	1,302,408	985,879	316,529
減価償却費	1,117,241	1,090,086	27,155
物件費	127,431	128,267	△ 836
支払報酬	134,280	142,667	△ 8,387
事務費	250,085	240,927	9,158
広告宣伝費	120,960	120,960	0
賃借料	1,564,460	1,564,770	△ 310
支払手数料	46,669	36,098	10,571
渉外費	1,572,484	1,056,191	516,293
諸会費	971,400	952,000	19,400
租税公課	1,404,158	1,538,495	△ 134,337
雑費	126,014	109,472	16,542
経常費用計	134,967,803	129,879,944	5,087,859
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,405,136	799,279	△ 3,204,415
評価損益等計	—	—	—
当期経常増減額	△ 2,405,136	799,279	△ 3,204,415
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	—	—	—
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	[1]	[—]	[1]
経常外費用計	1	—	1
当期経常外増減額	△ 1	—	△ 1
当期一般正味財産増減額	△ 2,405,137	799,279	△ 3,204,416
一般正味財産期首残高	50,395,163	49,595,884	799,279
一般正味財産期末残高	47,990,026	50,395,163	△ 2,405,137

科 目	当年度	前年度	増減
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	[216, 712]	[216, 712]	[0]
基本財産受取利息	216, 712	216, 712	0
当期指定正味財産増減額	216, 712	216, 712	0
指定正味財産期首残高	450, 349, 340	450, 132, 628	216, 712
指定正味財産期末残高	450, 566, 052	450, 349, 340	216, 712
Ⅲ 正味財産期末残高	498, 556, 078	500, 744, 503	△ 2, 188, 425

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法について

(a) 満期保有目的の債券

債券金額と異なる価額で取得した債券で、差額が金利の調整と認められるものは償却原価法によっている。

(b) その他の有価証券

期末における市場価格等に基づく時価によっている。

時価のないものについては取得価額によっている。

(2) 固定資産の減価償却について

(a) 工具・器具及び備品

定額法による減価償却を行っている。

(b) ソフトウェア

社内における利用可能期間（5年）に基づき償却している。

(3) 引当金の計上について

(a) 退職給付引当金

役職員の退職手当支給に備えるため、当年度末における退職給付債務に基づき、当年度末において発生していると認められる額を計上している。

(b) 賞与引当金

役職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当年度に帰属する額を計上している。

(4) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(5) 消費税等の会計処理

税込み方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次の通りである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	3,975,200	50,000,000	—	53,975,200
投資有価証券	446,374,140	216,712	50,000,000	396,590,852
小 計	450,349,340	50,216,712	50,000,000	450,566,052
特定資産				
退職給付引当資産	64,075,933	5,544,828	14,454,000	55,166,761
事業活動準備引当資産	14,930,000	—	—	14,930,000
設備購入引当資産	7,379,708	—	—	7,379,708
小 計	86,385,641	5,544,828	14,454,000	77,476,469
合 計	536,734,981	55,761,540	64,454,000	528,042,521

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次の通りである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
定期預金	53,975,200	(53,975,200)	(—)	(—)
投資有価証券	396,590,852	(396,590,852)	(—)	(—)
小 計	450,566,052	(450,566,052)	(—)	(—)
特定資産				
退職給付引当資産	55,166,761	(—)	(—)	(55,166,761)
事業活動準備引当資産	14,930,000	(—)	(14,930,000)	(—)
設備購入引当資産	7,379,708	(—)	(7,379,708)	(—)
小 計	77,476,469	(—)	(22,309,708)	(55,166,761)
合 計	528,042,521	(450,566,052)	(22,309,708)	(55,166,761)

4. 担保に供している資産

該当なし。

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次の通りである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
工具・器具及び備品	3,233,301	2,364,205	869,096
ソフトウェア	4,534,530	3,589,382	945,148
合 計	7,767,831	5,953,587	1,814,244

6. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

該当なし。

7. 保証債務等の偶発債務

該当なし。

8. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次の通りである。

(単位：円)

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
投資有価証券（基本財産）			
東日本旅客鉄道債 第39回	100,000,000	117,336,000	17,336,000
国債 利付国庫債券（20年） 第61回	19,814,472	19,695,200	△ 119,272
東京都公債 第722回	99,992,627	105,380,000	5,387,373
国債 利付国庫債券（30年） 第10回	76,783,753	90,767,600	13,983,847
兵庫県公債 12年 第4回	100,000,000	105,940,000	5,940,000
小 計	396,590,852	439,118,800	42,527,948
投資有価証券（退職給付引当資産）			
東京再生都債 第18回	10,000,000	9,995,000	△ 5,000
小 計	10,000,000	9,995,000	△ 5,000
合 計	406,590,852	449,113,800	42,522,948

9. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は次の通りである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
助成金 日本財団助成金	公益財団法人 日本財団	—	64,520,000	64,520,000	—	一般正味財産
合 計		—	64,520,000	64,520,000	—	

10. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

該当なし。

11. 関連当事者との取引の内容

該当なし。

12. 重要な後発事象

該当なし。

13. 退職給付関係

(1) 採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として退職一時金制度を設けている。

(2) 退職給付債務及びその内訳

(単位：円)

① 退職給付債務	△ 55,166,761
② 会計基準変更時差異の未処理額	—
③ 退職給付引当金 (①+②)	△ 55,166,761

(3) 退職給付費用に関する事項

(単位：円)

① 勤務費用	5,544,828
② 会計基準変更時差異の費用処理	—
③ 退職給付費用 (①+②)	5,544,828

(4) 退職給付債務等の計算に関する事項

退職給付債務の計算に当たっては、退職一時金制度に基づく期末自己要支給額を基礎として計算している。

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表の注記「2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」を参照。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	5,800,481	6,636,661	5,800,481	—	6,636,661
退職給付引当金	64,075,933	5,544,828	14,454,000	—	55,166,761

財 産 目 録

平成28年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金 手元有高		135,089
普通預金 三菱東京UFJ銀行本店	29,440,980	
" 三井住友銀行東京公務部	833,443	
" みずほ銀行虎ノ門支店	704,797	30,979,220
未収金 刊行物販売代金		10,200
有価証券 MMF 三菱UFJモルガン・スタンレー証券		129,040
前払費用 家賃・図書購読料		522,926
流動資産合計		31,776,475
2. 固定資産		
(1) 基本財産		
定期預金 三菱東京UFJ銀行本店		53,975,200
投資有価証券		
国債	96,598,225	
東京都公債	99,992,627	
兵庫県公債	100,000,000	
東日本旅客鉄道債	100,000,000	396,590,852
基本財産合計		450,566,052
(2) 特定資産		
退職給付引当資産		
定期預金 三菱東京UFJ銀行本店	14,559,022	
" 三井住友銀行東京公務部	10,000,000	
" みずほ銀行虎ノ門支店	6,500,000	
有価証券 MMF 三菱UFJモルガン・スタンレー証券	14,107,739	
投資有価証券 東京再生都債	10,000,000	55,166,761
事業活動準備引当資産		
定期預金 三菱東京UFJ銀行本店	13,930,000	
有価証券 MMF 三菱UFJモルガン・スタンレー証券	1,000,000	14,930,000
設備購入引当資産		
定期預金 三菱東京UFJ銀行本店	4,343,438	
" みずほ銀行虎ノ門支店	3,000,000	
有価証券 MMF 三菱UFJモルガン・スタンレー証券	36,270	7,379,708
特定資産合計		77,476,469

定款第44条第1項の規定により、平成27年度決算関係書類を上記の通り提出します。

平成28年5月 日

一般社団法人 日本船舶電装協会

会 長 川 合 隆 俊 ⑩

平成27年度決算関係書類を監査した結果、諸帳簿と符合し、その正確であることを認めます。

平成28年5月 日

監 事 田 中 要 助 ⑩

監 事 百 田 仁 ⑩

〈本決算報告書は競艇公益資金による公益財団法人日本財団の助成金を受けて作成した〉